

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 8 月 22 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒 060-0007 札幌市中央区北7条西26丁目3-1
氏 名	(医) 社 団 正 心 会 岡 本 病 院
(代表者名)	理 事 長 岡 本 呉 賦
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		83 医療業												
事業の規模	従業員数	185		人	原油換算した		251		k l					
	使用床面積	8,194		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		4		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC									
		573	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂							
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃									
		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂							
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項						
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項						
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

私達は、地球環境の保全を企業使命と考え、事業活動における環境への負荷の低減に心掛けます。
そして、持続可能な社会の実現と地域社会への貢献を目指すため、次のとおり取り組んでいきます。

- ☆ 地球温暖化の防止
- ☆ 資源の有効利用
- ☆ 廃棄物の排出抑制

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	668	t	2 %	655	t	2022の目標数値	電力・重油・灯油
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	16.3	t	2 %	16	t	2022の目標数値	ガソリン
			%				
			%				
			%				
			%				

注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。

2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。

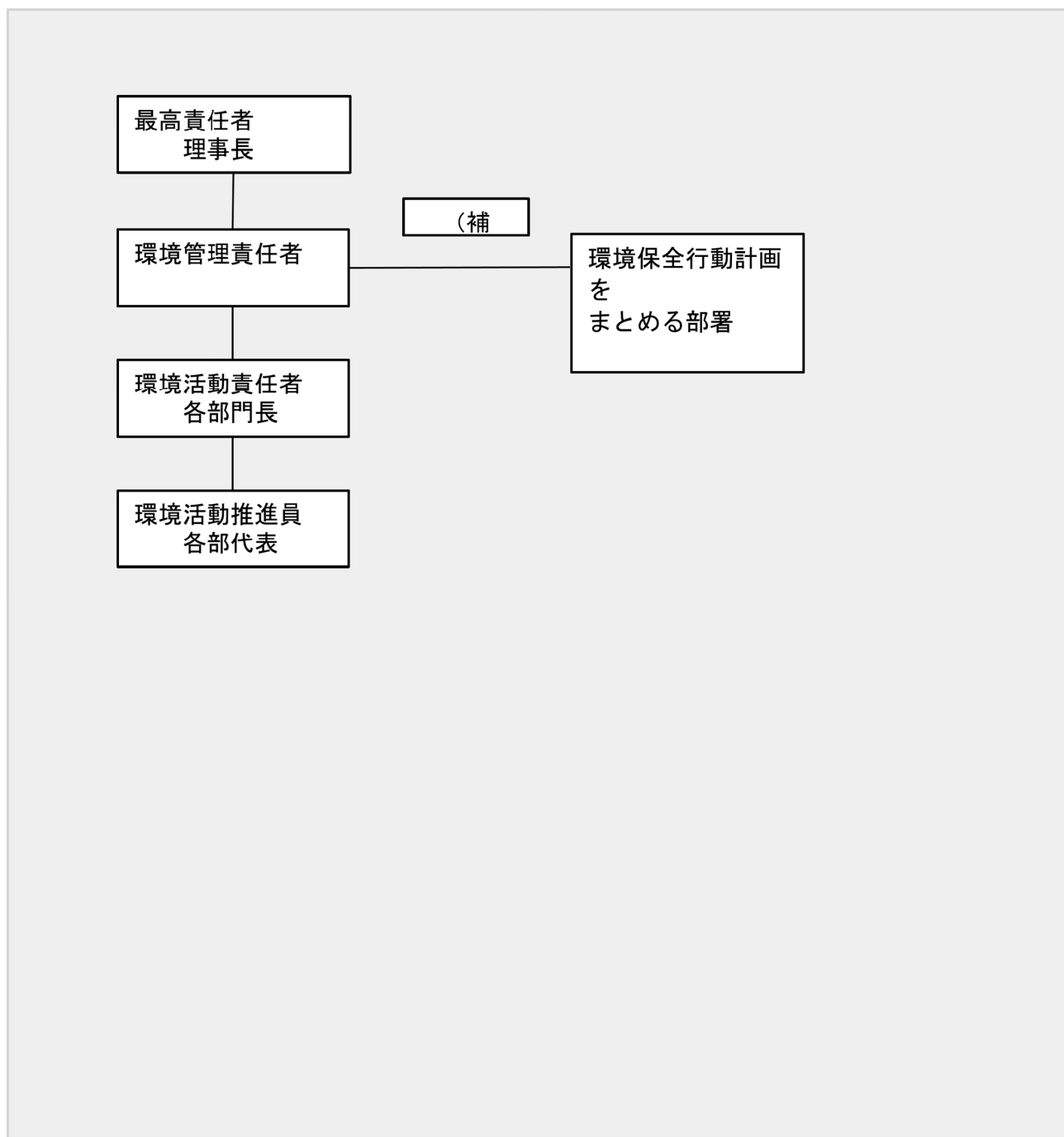
3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。

4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	昼休みの消灯を行う	事務室	全員	実施	実施	実施
	使用していない室内等の不要な照明を消す	事務室	全員	実施	実施	実施
	職員はエレベーターを使用せず、階段を使用	事務室	全員	実施	実施	実施
	退社時メインサーバーを落とす	事務室	事務室	実施	実施	実施
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	自動販売機の照明を使用しない	事務室	事務室	実施	実施	実施
	照明設備をLEDに変更	事務室	事務室・ボイラー室	実施	実施	実施
	冷暖房設備の管理(設定温度の管理)	事務室	全員	実施	実施	実施
	低消費電力家電の導入	事務室	事務室	実施	実施	実施
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	冷暖房設備のクリーニング(運転効率向上のため)	事務室	事務室・ボイラー室	実施	実施	実施
	窓の断熱強化	事務室	事務室・ボイラー室	実施	実施	実施
	節電に対する意識を高めるため、文書の配布	事務室	全員	実施	実施	実施
	デマンド監視装置の有効利用	事務室	事務室	実施	実施	実施
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	アンドリングストップを心がける	事務室	運転手	実施	実施	実施
	走行距離を短縮するため、効率的なルートを使う	事務室	訪問看護室 運転手	実施	実施	実施

4 環境保全に係る実施組織体制



5 その他（環境保全活動の取り組み等）

☆社内報への掲載 ☆公共交通機関使用の促進 ☆敷地内の樹木の剪定 ☆緑化運動